

平成30年度事業報告

(1) 埋蔵文化財発掘調査事業

平成30年度の発掘調査事業は、24事業42遺跡について実施した。内訳は、八ッ場ダム建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査事業12遺跡、渋川西バイパス(国道17号バイパス)1遺跡、前橋笠懸道路(国道50号バイパス)1遺跡、県公共事業関連23事業28遺跡、この中に上信自動車道吾妻西バイパス建設事業の6遺跡が含まれている。

八ッ場ダム調査事務所管内では、当初契約では15ヵ所の遺跡を発掘する計画であったが、調査範囲の変更等により4ヵ所の遺跡が次年度対応となり、代わって東原Ⅱ遺跡が追加されたため、発掘調査を実施した遺跡は12ヵ所である。調査は昨年度と同様に水没地内を3工区に分割し、共同企業体(JV)による発掘調査を実施した。1工区(長野原・横壁・林地区)では、前年度から継続の下田遺跡(2)・中棚Ⅱ遺跡(7)の他、追加調査となった東原Ⅱ遺跡(1)・林中原Ⅰ遺跡(4)などの調査を実施した。下田遺跡では天明泥流下から屋敷や畑、道などを検出した他、平安時代の竪穴建物も確認された。2工区(川原湯地区)では石川原遺跡(8)のみの調査となったが、天明泥流で埋没した屋敷の部材が多量に残っており、その下から複数の人骨が出土したことから、報道関係向けの公開を行った。天明泥流災害での被災者の発見は、八ッ場ダム関連の調査では初めてのことである。また、昨年度から継続調査している縄文時代後期～晩期の集落では、数多くの配石墓や掘立柱建物の他に、沢沿いにつくられた石組みを伴う水場遺構が確認され、多量のトチ・クルミ等も検出されている。3工区(川原畑地区)では、西宮遺跡(9)・東宮遺跡(10)・石畑Ⅰ岩陰(12)などの調査を実施した。石畑Ⅰ岩陰では、昨年度から継続している岩陰本体部分の調査を行い、遺物包含層と厚い灰層などを確認した。また、8月から旧国道下の調査も実施し、天明泥流下で畑を、下層で縄文時代の包含層などを調査した。なお、石川原遺跡では一部冬期の調査を実施した。

国土交通省関連では、渋川西バイパス金井下新田遺跡(13)が発掘調査され、Hr-FA(火山灰上)を歩いたヒトの足跡、馬の蹄跡が、県道の東側から続く状態で発見されている。またHr-FA直下からは、古墳時代の集落が発見され、竪穴建物が4棟発見されている。前橋笠懸道路(国道50号バイパス)では、柳田遺跡で(14)昨年に継続する部分と、新たな調査区の双方が発掘調査され、古墳時代後期を中心とする集落が調査されている。

県土整備部関連事業では、上信自動車道金井バイパス建設事業で金井東裏遺跡(23)の最後の部分が発掘調査された。多面調査であったが弥生時代の竪穴建物1棟のほか、縄文時代から弥生時代の土坑などが調査されている。これまで注目されてきたHr-FA降下層中の調査面では、馬蹄跡が発見されたにとどまった。上信自動車道吾妻西バイパス建設事業に伴う調査では、平成28年度から継続した唐堀遺跡(35)が最終年の調査になり、縄文時代後期の水場遺構が完全に露呈され、報道機関に公開した。同事業では新井遺跡(33)、四戸遺跡(34)・四戸の古墳群(36)・唐堀C遺跡(37)・根小屋城跡(38)が実施された。この中で、新井遺跡では方形周溝墓・縄文時代の竪穴建物などが発見され、四戸の古墳群では3基の古墳と、四戸遺跡から続く弥生・奈良平安時代の集落が調査され、唐堀C遺跡でも古墳・奈良時代の竪穴建物が発見されている。また、根小屋城跡は戦国時代の城跡で、本丸部分では掘立柱建物が7棟、斜面部には小規模な曲輪や堀が発見された。

西毛広域幹線道路関係の発掘調査では、6遺跡が調査実施になっている。下芝内出畑遺跡(19)は前年度調査実施部分の継続調査であった。今年度は昨年度確認されていた製鉄炉5基の他に、平安時代の竪穴建物3棟を加え調査を実施した。本郷満行原遺跡(20)では昨年度に継続する寺院関連建物の調査が行われ、南側に接続する本郷鶴楽遺跡(18)では、二重の溝で囲む遺構や特殊な掘立柱建物、竪穴建物208棟が調査されている。そして、出土遺物には小金銅仏・経筒蓋があり、寺院関連遺物が含まれている。安中市0201遺跡(28)では、当初予定されていなかった古墳の発見があり、平成31年度以降に改めて調査実施されることになった。安中市0334遺跡(26)・安中市0334遺跡(27)は、225棟に及ぶ竪穴建物の調査が実施されている。碓氷郡衝に至近ではないか考えられていた遺跡ではあったが、具体的な遺構の発見には至らなかった。

その他県公共事業に伴う発掘調査では18遺跡が発掘調査実施になっている。前橋市0107遺跡(17)では、古代の水路と思われる遺構と近世の井戸などが調査されている。前

橋市0149遺跡(15)では、Hr-FAで埋没した畠が調査されている。前橋市0635・0946遺跡(16)では、古墳・奈良平安時代の竪穴建物やAs-B下水田跡が調査されている。綿貫41遺跡(21)では、中近世の堀、中世館、古墳時代前期の竪穴建物、7世紀の横穴式石室、古墳の周溝等が調査されている。中室田岩城遺跡(20)では縄文時代中期の竪穴建物と土坑等が調査されている。富岡市T007遺跡(22)では、方形周溝墓、方墳、横穴式石室を伴う円墳など多数が調査され、縄文・弥生時代の竪穴建物の発見も続いた。下高田白山遺跡(25)では、平安時代の竪穴建物と土坑が調査されている。桐生新町水路跡(29)では、桐生新町伝統的建造物群保存地区の水路跡の発掘調査になり15か所を調査実施している。陣谷遺跡(31)は昨年度に継続し隣地の発掘調査になった。調査では、中世の道や、人為的に埋められた谷地が調査され、昨年度の調査区に隣接する部分では、県内初例となった、ほぼ完全な古代の馬鍬が2具出土し、報道機関に公開した。藤岡22・27包蔵地(32)では、県道の拡幅に伴う調査であったため、安全対策を厳重に行い、発掘調査を実施した。竪穴建物17棟のほか、溝、土坑、ピットを調査している。阿左美遺跡(30)では縄文時代の竪穴建物2棟、土坑を多数調査している。糸里制水田想定地(40)では、竪穴建物と土坑が発見されている。

コンベンション施設関連では、高崎競馬場遺跡(39)の発掘調査を実施している。調査では、As-B軽石下水田及びAs-C軽石下の谷部分が調査され、木器が少量出土している。コンベンション施設関連の発掘調査は、今年度で終了した。

ア 幹線交通関連埋蔵文化財発掘調査

(単位：千円)

区分	遺跡名	所在地	面積 m ²	受託費	委託者
八ッ場ダム	1 東原Ⅱ遺跡	長野原町林	1,581	906,712	国土交通省
	2 下田遺跡	長野原町林	14,841		
	3 尾坂遺跡	長野原町長野原	398		
	4 林中原Ⅰ遺跡	長野原町林	711		
	5 町遺跡	長野原町長野原	607		
	6 横壁中村遺跡	長野原町横壁	1,796		
	7 中棚Ⅱ遺跡	長野原町林	4,911		
	8 石川原遺跡	長野原町川原湯	8,467		
	9 西宮遺跡	長野原町川原畑	9,282		
	10 東宮遺跡	長野原町川原畑	5,921		
	11 三平Ⅰ遺跡	長野原町川原畑	7,802		
	12 石畑Ⅰ岩陰	長野原町川原畑	376		
	小計		56,693	906,712	
渋川西B.P	13 金井下新田遺跡	渋川市金井	1,234	67,517	
	小計		1,234	67,517	
前笠道路	14 柳田遺跡	伊勢崎市赤堀今井町	5,800	56,602	
	小計		5,800	56,602	
	国土交通省計		63,727	1,030,831	
	幹線交通関連計		63,727	1,030,831	

イ 公共開発関連埋蔵文化財発掘調査

(単位：千円)

区分	遺跡名	所在地	面積 m ²	受託費	委託者		
公共開発関連	15	前橋市0149遺跡	前橋市問屋町	409	7,235	県土整備部	
	16	前橋市0635・0946遺跡	前橋市下佐鳥町	1,711	32,173		
	17	前橋市0107遺跡	前橋市池端町	1,025	9,978		
	18	本郷鶴楽遺跡	高崎市本郷町	8,940	167,478		
	19	下芝内出畑遺跡	高崎市下芝町	587			
	20	本郷満行原遺跡	高崎市	4,926	13,416		
	21	綿貫41遺跡	高崎市綿貫町	6,869	73,370		
	22	中室田岩城遺跡	高崎市中室田町	3,187	25,951		
	23	金井東裏遺跡	渋川市金井	709	19,469		
	24	T007遺跡	富岡市後賀	2,169	75,879		
	25	下高田白山遺跡	富岡市下高田	6,446	43,850		
	26	安中市334遺跡	安中市安中	4,877	130,024		
	27	安中市0334遺跡	安中市安中	4,700	111,368		
	28	安中市0201遺跡	安中市安中	5,651			
	29	桐生新町水路跡	桐生市本町	30	12,652		
	30	阿左美遺跡	みどり市笠懸町阿左美	2,392	37,546		
	31	陣谷遺跡	館林市楠町	2,818	44,737		
	32	藤岡市22・27包蔵地	藤岡市中栗須	1,246	22,158		
	33	新井遺跡	東吾妻町厚田	959	399,547		
	34	四戸遺跡	東吾妻町三島	963			
	35	唐堀遺跡	東吾妻町三島	3,168			
	36	四戸の古墳群	東吾妻町三島	5,731			
	37	唐堀C遺跡	東吾妻町三島	9,677			
	38	根小屋城跡	東吾妻町三島	8,808			
		小計		87,998	1,226,831		
	39	高崎競馬場遺跡他	高崎市岩押町	14,740	157,063		産業経済部
		小計		14,740	157,063		
	40	条里水田想定地	太田市藤阿久町	505	5,889		(教)管理課
		小計		505	5,889		
	公共開発関連 計			103,243	1,389,783		
	発掘調査事業費 合計			166,970	2,420,614		

(2) 埋蔵文化財発掘調査整理事業

平成30年度の整理事業は35遺跡について実施し、内訳は八ッ場ダム関連16遺跡、公共開発関連19遺跡である。このうち八ッ場ダム関連5冊、公共開発関連8冊の計13冊の報告書を刊行した。

八ッ場ダム関連では、『林中原Ⅱ遺跡(3)』、『中棚Ⅰ遺跡』、『下原遺跡(3)』、『西久保Ⅰ遺跡(2)西久保Ⅴ遺跡』、『西ノ上遺跡(2)』の5冊を刊行した。林中原Ⅱ遺跡の縄文時代については(1)と(2)ですでに報告済みであり(3)では弥生時代～中・近世の遺構・遺物について報告している。特に、弥生時代では、中期の竪穴建物2棟が報告されており、出土した土器は貴重な資料を提供している。西ノ上遺跡では、天明泥流下の畑や道などのほか、縄文時代前期から弥生時代前期の土器などを報告している。

公共関連では伊勢崎新田上江田線の『下湊名遺跡』、笠懸赤堀今井線の『武井峯岸Ⅴ遺跡』、『前畑J遺跡』、上信道金井バイパスの『金井東裏遺跡(古墳時代編)』、上信自動車道吾妻西バイパス『厚田中村遺跡』、上信自動車道祖母島箱島バイパスの『宮貝戸遺跡』、県立学校改修等の『台遺跡』、『七日市陣屋遺跡・七日市古墳群小原遺跡 上佐鳥明神前遺跡(前橋市0934遺跡)』の8冊を刊行した。

伊勢崎新田上江田線では下湊名遺跡の報告書が刊行され、平安時代の竪穴建物が報告され、古代佐位郡淵名郷解明のための資料が加えられた。笠懸赤堀今井線の前畑J遺跡は狭い範囲の調査報告ではあるが、縄文時代前期から後期までの継続的な土器型式が確認されており、赤城山麓における豊かな縄文社会の存在を知ることのできる資料を提供することができた。

上信道金井バイパス関連では、金井東裏遺跡の古墳時代編の報告書が刊行された。平成24年の「甲を着た古墳人」の発見以来、大きな話題となってきた6世紀初頭の榛名山の噴火に伴う火砕流に被災した古墳時代の遺構・遺物を主体とした報告であり、群馬県の古墳時代を解明していく上で、重要な報告書となった。また、隣接する金井下新田遺跡についても、遺構図の編集、土器の接合・復元、実測や石器の実測作業が順次進められている。

上信道吾妻西バイパス関連では、厚田中村遺跡の報告書が刊行され、古墳時代から近世に至る水田遺構が報告され、厚田の地域で長い年月にわたって継続的に水田稲作が行われてきたことが判明しただけでなく、吾妻地域における古墳時代水田の発見は初例で、しかも県内最北の発見例でもあることから、地域の歴史解明に重要な報告となった。また、前年度から継続されている唐堀遺跡の整理では、遺構図の編集や大量に出土した土器や石器の接合・復元、実測などの作業が進められた。

コンベンション関連の高崎競馬場遺跡では、前年度に引き続き弥生時代の遺構図編集や弥生土器の接合・復元、石器の分類・実測などが継続された。

ア 幹線交通関連埋蔵文化財調査整理

(単位:千円)

区分	遺跡名	所在地	報告書名	受託費	委託者
八ッ場ダム	1 石川原遺跡	長野原町川原湯		251,436	国土交通省
	2 東宮遺跡	長野原町川原畑			
	3 林中原Ⅱ遺跡	長野原町林	第650集 林中原Ⅱ遺跡(3)		
	4 川原湯勝沼遺跡	長野原町川原湯			
	5 林宮原遺跡・林中原Ⅰ遺跡	長野原町林			
	6 中棚Ⅰ遺跡	長野原町林	第648集 中棚Ⅰ遺跡		
	7 下田遺跡	長野原町林			
	8 下原遺跡	長野原町林	第647集 下原遺跡(3)		
	9 西久保Ⅰ遺跡	長野原町横壁	西久保Ⅴと合本		
	10 前原遺跡	長野原町川原湯			
	11 西宮遺跡	長野原町川原畑			
	12 二社平遺跡	長野原町川原畑			
	13 西ノ上遺跡	長野原町川原湯	第651集 西ノ上遺跡(2)		
	14 西久保Ⅴ遺跡	長野原町横壁	第655集 西久保Ⅰ遺跡(2)・西久保Ⅴ遺跡		
	15 川原畑の宝篋印塔	長野原町川原畑			
	小計		5冊	251,436	
	幹線交通関連計		5冊	251,436	

イ 公共開発関連埋蔵文化財調査整理

(単位:千円)

区分	遺跡名	所在地	報告書名	受託費	委託者		
公共開発関連	16 下刈名遺跡	伊勢崎市境下刈名	第645集 下刈名遺跡	4,939	県土整備部		
	17 武井峯岸Ⅴ遺跡	桐生市新里町野	第649集 武井峯岸Ⅴ遺跡	18,211			
	18 前畑J遺跡	桐生市新里町野	第656集 前畑J遺跡				
	19 大島田Ⅱ遺跡・沼田遺跡	安中市下秋間		12,953			
	20 下芝内手畑遺跡・和田山天神前2遺跡	高崎市箕郷町下芝・和田山		19,017			
	21 金井東裏遺跡	渋川市金井	第652集 金井東裏遺跡・《古墳時代編》	81,689			
	22 金井下新田遺跡	渋川市金井					
	23 四戸遺跡	東吾妻町三島					
	24 唐堀遺跡	東吾妻町三島		51,312			
	25 厚田中村遺跡	東吾妻町厚田	第644集 厚田中村遺跡				
	26 宮貝戸遺跡	東吾妻町箱島	第646集 宮貝戸遺跡	8,885			
		小計		6冊		197,006	
	27 高崎競馬場遺跡	高崎市岩押町		46,244		産業経済部	
		小計		0冊			46,244
	28 台遺跡	館林市上三林町	第654集 台遺跡			16,291	(教)管理課
	29 七日市陣屋跡・七日市古墳群	富岡市七日市	第653集 七日市陣屋跡・七日市古墳群 小原遺跡 上佐鳥				
30 小原遺跡	中之条町中之条	明神前遺跡					
31 前橋市0934遺跡	前橋市上佐鳥町						
	小計		2冊	16,291			
	公共開発関連計		8冊	259,541			
	整理事業費合計		13冊	510,977			

(3) 普及啓発事業

平成30年度は、県の委託事業として発掘情報館最新情報展や埋蔵文化財専門講座、夏休み親子宿題教室、出土遺物保存管理業務、古墳情報発信事業などを実施した。平成30年度の発掘情報館の来館者数は14,020人を数え、うち日曜開館の来館者は4,500人であった。

受託事業として、夏休み親子宿題教室が7月20日～8月26日にわたり実施され、例年同様に連日多くの来館者を迎えて盛況に行われた。なお、期間中の来場者は5,016人であった。古墳情報発信事業では10月14日(日)に開催された古代東国文化サミットの古代体験広場として、藤岡市の藤岡歴史館を会場にカラフル勾玉と焼かない円筒埴輪作りを実施し、好評を得た。

自主事業では、12月2日(土)に、長野原町山村開発センターを会場として「発掘された八ッ場の軌跡」と題した調査遺跡発表会を実施し、181人の入場者を迎えた。2月23日(土)には前橋テルサホールを会場に公開考古学講座を開催し、東京国立博物館副館長 井上洋一先生による「東京国立博物館を彩る群馬県出土の考古資料」と題した講演を行い、250人の入場者が熱心に聴講した。また、埋蔵文化財講座として「ぐんま発掘玉手箱シリーズ5」6講座を実施した。体験学習を主とした事業としては、12月より「大人のための冬の古代体験教室」、3月下旬より「春の勾玉まつり」をそれぞれ実施した。

ア 委託事業(委託者:県教育委員会)

(ア)普及活動等 受託費:18,882千円

①展示普及(展示普及一般・普及啓発嘱託員設置)
普及啓発活動のための嘱託職員1名を配置した。

②最新情報展・教養講座

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ	備考
最新情報展		発掘情報館 資料展示室	12,517人	資料整理が終了した遺跡の成果を展示公開	
第1期展示	平成30年5月20日(日) ～平成30年9月30日(日)		9,113人	「甲を着た古墳人の武器・武具」	
第2期展示	平成30年10月7日(日) ～平成30年12月23日(日)		2,046人	「出土遺物に見る古代人の顔」	
第3期展示	平成31年1月13日(日) ～令和元年5月12日(日)		1,358人	「古代の装身具」	

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ	備考
第1期講演会	平成30年7月1日(日) 13:00～15:00	発掘情報館 研修室	103人	「甲を着た古墳人の武器・武具」 講師:杉山秀宏(事業団職員)	
第2期講演会	平成30年10月28日(日) 13:00～15:00		15人	「出土遺物に見る古代人の顔」 講師:大木紳一郎(事業団職員)	
第3期講演会	平成31年2月3日(日) 13:00～15:00		16人	「古代の装身具」 講師:松村和男(事業団職員)	

③埋蔵文化財専門講座

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ	備考
埋蔵文化財 専門講座	平成30年 9月4日(火) ～9月6日(木)	発掘情報館 本館第2資料室	29人	市町村教育委員会の文化財担当者を対象とした考古学、埋蔵文化財の基礎知識や最新の研究成果を習得する講座	
埋蔵文化財 担当者コース	9月11日(火) ～9月13日(木)	発掘調査実習 本郷鶴楽遺跡			
教員コース	平成30年 8月7日(火)～8月9日(木)		13人	「授業に活かすぐんまの遺跡」埋蔵文化財の調査成果を学校の歴史学習や地域学習等に活用するための講座	

④夏休み親子宿題教室

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ	備考
夏休み親子 宿題教室	平成30年7月20日(金) ～8月26日(日)	発掘情報館	5,016人	夏休み期間中に小・中学生を中心に土器作りや勾玉作りなどを実施	

⑤出土遺物保存管理

事 項	概 要	備考
遺物管理 台帳作成	○作成遺跡 唐堀B遺跡/五箇川入堤外遺跡/小合地西遺跡/有馬西田遺跡/東宮遺跡(4)/西宮遺跡(1)/西宮岩陰/塩川砂井戸遺跡(2)/池石田遺跡/金井東裏遺跡<近世・弥生・縄文時代編>/上ノ平 I 遺跡(3)/尾坂遺跡(3)/川原湯中原Ⅲ遺跡/石川原遺跡(1)/下湯原遺跡(1)/新屋敷前遺跡/林中原Ⅱ遺跡(2) この台帳をもとに、収蔵庫内の遺物の管理や活用を行っている。	

(イ)古墳情報発信事業 受託費:45千円

①古代東国文化サミット

10月14日に藤岡市 藤岡歴史館を会場として実施された「群馬古墳フェスタ古代体験広場」では、当事業団で限定各200個のカラフル勾玉、焼かない粘土の円筒埴輪づくりを実施した。

(ウ)施設管理 受託費:18,179千円

群馬県埋蔵文化財調査センター施設の維持管理

イ 自主事業 事業費:6,644千円

①調査遺跡発表会

事 項	期 間	場 所	参加者	講 師	備考
調査遺跡 発表会 「発掘されたハッ場の軌跡」	平成30年12月2日(土) 10:00～15:20	長野原町山村開 発センター	181人	[基調報告] 当事業団 藤巻幸男 [発表] 当事業団 小野和之 当事業団 石川真理子 当事業団 石田 真 当事業団 飯森康広 当事業団 齋藤利昭 当事業団 宮下 寛 長野原町教育委員会 富田孝彦	

②公開考古学講座

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ	備考
公開考古学 講座	平成31年2月23日(土) 13:30～15:00	前橋テルサ ホール	250人	演 題 「東京国立博物館を彩る群馬県出土の考古資料」 講師:井上洋一先生 東京国立博物館副館長	

③埋蔵文化財講座

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ	備考
埋蔵文化財講座		発掘情報館 研修室	合計 376人	「ぐんま発掘玉手箱シリーズ5」 連続6回の講座 対 象:高校生以上 受講料:2,000円/全6回	
第1回	平成30年6月10日(日) 13:00~15:00		75人	「保存科学の世界―腐食を止める―」 講師:関 邦一 (事業団職員)	
第2回	平成30年7月8日(日) 13:00~15:00		74人	「ユネスコ「世界の記憶」上野三碑―多胡郡に住んだ人々―」 講師:松田 猛 (上野三碑世界記憶遺産登録推進協議会)	
第3回	平成30年9月9日(日) 13:00~15:00		57人	「これから中世城郭をどう考えるか―戦と城館のあり方をめぐって―」 講師:飯森康広(事業団職員)	
第4回	平成30年12月9日(日) 13:00~15:00		55人	「古代の食を追う」 講師:洞口正史 (事業団職員)	
第5回	平成31年1月20日(日) 13:00~15:00		52人	「下触牛伏遺跡の環状ブロック群を考える」 講師:岩崎泰一 (事業団職員)	
第6回	平成31年3月10日(日) 13:00~15:00		63人	「ぐんま古墳探訪―古墳の歩き方―」 講師:川口 亮 (群馬県教育委員会文化財保護課)	

④一般普及事業

事 項	期 間	場 所	参加者	概 要・テーマ	備考
県民の日記念事業	平成30年10月28日(日)	発掘情報館	22人	勾玉作り。白、緑を通常価格50%以下の100円で販売。	33個
大人のための冬の古代体験教室	平成30年12月11日(木) ~平成31年2月26日(火)	発掘情報館	56人	トンボ玉作り、銅鏡レプリカ作り、アンギン織り、ミニチュアレプリカについての体験教室を計17回実施した。	

⑤発掘調査現地説明会等

遺 跡 名	期 間	場 所	参加者	概 要	備考
唐堀遺跡	平成30年11月29日(木)	東吾妻町 唐堀遺跡	27人	縄文時代の水場遺構(地元向け)	
富岡市T007遺跡	平成30年12月16日(日)	富岡市 T007遺跡	63人	古墳と縄文時代竪穴建物(地元向け)	
長野原町町民文化祭参加	平成30年11月3日(土)	長野原町立総合運動公園	132人 (勾玉)	ハツ場ダム建設関連。町民文化祭に併せて発掘調査のパネルや遺物の展示。勾玉作り体験学習を実施。	

ウ その他事業 事業費:3,915千円

事項	期間	場所	参加者	概要・テーマ	備考
創立40周年記念式典	平成30年7月14日(土)	前橋テルサホール	420人	第1部:創立40周年記念式典 第2部:創立40周年記念講演	
創立40周年記念展示	平成30年7月15日(日) ~平成30年9月30日(日)	発掘情報館	4,237人	奇跡の発掘 金井東裏遺跡のすべて	
創立40周年記念出版	「古墳人、現る - 金井東裏遺跡の奇跡」 A5判・オールカラー・208頁 発行:上毛新聞社			金井東裏遺跡の発掘調査や研究成果を一般向けに解説した決定版	

エ 施設利用状況等

項目	概要						
資料の利用状況	区分	件数			点数		
		29年度	30年度	比較	29年度	30年度	比較
	利用	38件	38件	0件	4,384点	9,719点	5,335点
	貸出	100件	109件	9件	4,729点	2,792点	△1,937点
体験学習機材貸出	11件	10件	△1件	-	-	-	
見学・体験学習	区分	件数			人数		
		29年度	30年度	比較	29年度	30年度	比較
	学校等団体	26件	17件	△9件	983人	638人	△345人
	その他団体	41件	35件	△6件	964人	857人	△107人
その他個人	-	-	-	11,460人	12,525人	1,065人	
土器作り等の指導派遣	区分	件数			生徒数		
		29年度	30年度	比較	29年度	30年度	比較
	学校等[出前授業]	5件	6件	1件	340人	415人	75人
	一般[出前講座]	9件	12件	3件	515人	464人	△51人
図書業務	区分	件数			人数		
		29年度	30年度	比較	29年度	30年度	比較
	書籍等貸出	4,057冊	4,076冊	19冊	1,015人	1,018人	3人
	図書受入	2,672冊	2,437冊	△235冊	-	-	-
保存処理業務	区分	件数			件数		
		29年度	30年度	比較	29年度	30年度	比較
	木器関係の保存処理	24点	596点	572点			
	木器関係のプレパパート作成	10点	0	△10点			
	木器関係の実測	10点	10点	0			
	木材樹種同定	27点	10点	△17点			
	金属器の錆落とし	824点	694点	△130点			
	X線写真撮影	1336点	1789点	453点			
	土層剥取	0件	3件	3件			
	遺物の取り上げ	11件	52件	41件			
	金属・木・竹製品修復	9点	0	△9点			
	特殊脆弱遺物精査・クリーニング・強化処理	15点	6点	△9点			
	市町村技術援助	9件	7件	△2件			
発掘情報館業務	区分	件数			件数		
		29年度	30年度	比較	29年度	30年度	比較
	入館者(年間)	13,407人	14,020人	613人			
夏休み親子宿題教室(夏休み期間)(再掲)	4,061人	5,016人	955人				
職場体験学習等	吾妻中央高校インターシップ1名				整理・発掘情報館業務		
情報誌の刊行	「埋文群馬」No.64(創立40周年記念号)の刊行						
年報の刊行	「年報38」の刊行						
研究紀要の刊行	「研究紀要37」の刊行						